

かのや100チャレ 2021 審査結果

最優秀賞	オオカミと3匹のこひつじ	三輪田学園高等学校	東京都
優秀賞	ハッピーボンコツ	京華女子高等学校	東京都
審査員特別賞	SG ブラザーズ	湘南学園高等学校	神奈川県
アイデア賞	探求チーム	清風南海高等学校	大阪府
行動賞	ホームタウン Hometown	串良商業高等学校	鹿屋市
敢闘賞	京華中高地域活性化チーム1	京華中学・高等学校	東京都
	CHKboys たべっ子どうぶつ	鹿屋中央高等学校 串良商業高等学校	鹿屋市

一次審査 & 本選審査
 前回までは首都圏に限定していた参加対象校の範囲を、今回は全国まで広げたとこ、過去最多の16校42チーム162人が参加。8月29日に一次審査をオンラインで実施。その後、市内での開催は初となる本選審査が11月6日にユクサおおすみ海の学校で行われました。本選に残ったのは7校8チームの32人。審査員や他の出場者の前で、考え抜いたアイデアの発表が行われました。



かのや100チャレ 全国の中高生が考える鹿屋市が抱える100の課題チャレンジ事業

政策アイデアコンテスト「かのや100チャレ」の全日程が終了し、各賞が決定しました。その様子を写真などを交えてお知らせします。
 鹿屋市ふるさとPR課 Tel 0994-45-6950

「世界の料理をもっと知ろう」と題し、国際協力機構(JICA)が運営している食堂「J's Cafe」を参考に、異文化理解を深められるカフェを立案しました。地元で採れた規格外食材を使用することによる地産地消の推奨やフードロスの削減、宗教上の理由などで特定の食材が食べられない人への配慮を行うことで、多文化の人材が集う交流拠点として整備。文化間の摩擦を減らすことにより、様々な人々が暮らしやすくなることを目指し、見事最優秀賞に輝きました。

最優秀チームの発表
 中学1年生から同じバレー部に所属するメンバーで出場した「オオカミと3匹のこひつじ」チーム。「世界の料理をもっと知ろう」と題し、国際協力機構(JICA)が運営している食堂「J's Cafe」を参考に、異文化理解を深められるカフェを立案しました。地元で採れた規格外食材を使用することによる地産地消の推奨やフードロスの削減、宗教上の理由などで特定の食材が食べられない人への配慮を行うことで、多文化の人材が集う交流拠点として整備。文化間の摩擦を減らすことにより、様々な人々が暮らしやすくなることを目指し、見事最優秀賞に輝きました。



最優秀賞を獲得したオオカミと3匹のこひつじ チーム

鹿屋市を調査

課題を発見

アイデアの提案



鹿屋市をPR & ファンづくり

「かのや100チャレ」は鹿屋市が抱える様々な課題に対して、その課題解決策を中高生に提案してもらった政策アイデアコンテストです。地方創生の一環として、平成27年からスタートし、今年で8回目となります。本市について調査研究してもらうことで、生徒たちは地方の現状を知り、興味・関心を持ってもらうきっかけとなっています。また市の知名度向上とファンづくり、関係人口の増加につなげていくのが狙いです。

かのや100チャレとは

参加した学校の自主活動

第1回から「かのや100チャレ」に参加している学校もあり、これまで本市への訪問や特産品の販売、学園祭での鹿屋市PRなど、各学校・生徒が自主的に活動し、本市を広く周知する取り組みを行っています。

湘南学園(神奈川県)の取り組み

本校は第1回から「かのや100チャレ」に参加しています。参加した生徒と学生食堂が協働し、鹿屋市の食材を使用した「かのやメニュー」を考案・提供しています。用意した数量がすぐに完売するなど、食べた人からはとても好評でした。今後も「かのやメニュー」の提供を続けていく予定です。



▲湘南学園が考案&提供したメニュー「かのやカンパチのカツカレー」「かのや紅はるかのスイートポテト」

1. 文化祭で鹿屋市の特産品を紹介 (横須賀学院 神奈川県)
2. 文化祭で鹿屋市を紹介 (京華学園 東京都)
3. 「東京私立男子中学校フェスタ」オンライン動画による取り組みの発表 (京華学園 東京都)



本選の様子



ユクサおおすみ海の学校



空き家に関するワークショップ



ユクサおおすみ海の学校



市内視察



荒平天神、串良地下壕電信室、etc.



今回の取組状況やチームの紹介は市ホームページでご覧いただけます。また、一次審査や本選、交流事業等の様子はYouTube配信を行っています。

その他の取り組みは、かのや100チャレ公式Facebookでも紹介しています。



▲市ホームページ



▲YouTube



▲Facebook